

(4) 野菜類  
ア 果菜類

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	栽培 様式	作型模式図											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
きゅうり	ハウス冬春どり	ハイグリーン22 極光607	170×40cm 1,500株												
	初夏どり	春栄 マジカル2号	150×50cm 1,000株												
	夏秋どり	福富	250×50cm 800株												
	ハウス秋どり	恵の風 エクセレント2号	250×45cm 2条 (条間70) 1,400株												
すいか	半促成	紅こだま	300×100cm 330株												
	メロン	クインシー タカミ	120×90cm 920株												
かぼちゃ	初夏どり 夏どり	ほっこり133 イーティ2 ニューなか やま ほっこりえび す	300×100 330 ~500 株												

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量(kg/10a)					堆肥及び土づくり資材等 の施用例(10a当たり)	備考		
		成分	基肥	追肥(回)						
				1回	2回	3回			4回	5回
15,000	6.0 ~ 6.5	N	25	5	5	5	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>稲わら牛ふん堆肥を3,000kg施用する。</li> <li>【この場合、左の基肥から窒素:3.0kgりん酸:8.7kg加里:14.4kgを差し引く】</li> </ul>	樹勢が弱くなると不良果が増加するので速効性の肥料を追肥するとともに病害虫の防除につとめる。	
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>		35				35				
K <sub>2</sub> O		25	5	5	5	35				
8,000		N	20	5	5	5	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>窒素:3.0kg</li> <li>りん酸:8.7kg</li> <li>加里:14.4kg</li> <li>を差し引く】</li> </ul>	追肥は収穫の始まる頃から速効性の肥料を施用する。	
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	28				28					
K <sub>2</sub> O	20	5	5	5	35					
5,000		N	20	5	5	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦土炭カルを120kg施用する。</li> </ul>			
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	25				25					
K <sub>2</sub> O	20	5	5		30					
4,000		N	5	5	5	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>稲わら牛ふん堆肥を1,500kg施用する。</li> <li>【この場合、左の基肥から窒素:1.5kgりん酸:4.4kg加里:7.2kgを差し引く】</li> </ul>	徒長しやすいので施肥は追肥重点とする。		
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	10				10					
K <sub>2</sub> O	5	5	5		15					
4,000	6.0 ~ 6.5	N	15	5		20	<ul style="list-style-type: none"> <li>稲わら牛ふん堆肥を2,000kg施用する。</li> <li>【この場合、左の基肥から窒素:2.0kgりん酸:5.8kg加里:9.6kgを差し引く】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>根群の分布が浅いと品質もおちるので、作土は深くする。</li> <li>基肥に肥効調節型(リニア型70日タイプ)を使用する場合は窒素を10kgとする。</li> </ol>		
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	20				20					
K <sub>2</sub> O	15	5			20					
3,000	6.0 ~ 6.5	N	5	3	3	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>稲わら牛ふん堆肥を2,000kg施用する。</li> <li>【この場合、左の基肥から窒素:2.0kgりん酸:5.8kg加里:9.6kgを差し引く】</li> <li>苦土炭カルを100kg施用する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>窒素の効きすぎは品質を低下するので注意する。</li> <li>排水を良好にする。</li> </ol>		
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	18				18					
K <sub>2</sub> O	12	3	3		18					
3,500	5.5 ~ 6.5	N	13	5		18	<ul style="list-style-type: none"> <li>稲わら牛ふん堆肥を2,000kg施用する。</li> <li>【この場合、左の基肥から窒素:2.0kgりん酸:5.8kg加里:9.6kgを差し引く】</li> <li>苦土炭カルを80kg施用する。</li> </ul>	とくに吸肥力が強く、つるぼけかなりやすいので、施肥は地力に応じて加減する。		
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	22				22					
K <sub>2</sub> O	13	5			18					

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	栽培 様式	作型模式図													
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
ズッキーニ	トンネル早熟	KZ2	150~180cm × 80~90cm 600~800株				○	×	①	②							
	露地抑制	KZ2	150~180cm × 80~90cm 600~800株								○	×	①	②			
にがうり	雨よけハウス	百成レイシ2号				↑	○	×	①	②	③	④	↑				
	普通	百成レイシ2号							○	×	①	②	③				
なす	夏秋どり	千両2号式部	160~200×60cm 800~1,000株						○	×	①	②	③				
	春夏どり	式部千両2号	180×55cm 2条(条間30)			↑	○	×	①	②	③		④	⑤			○
	冬春どり(ハウス越冬)	式部	170~190×65cm 850株				④	⑤	⑥	⑦			○	↑	①	②	③

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量(kg/10a)					堆肥及び土づくり資材等の 施用例(10a当たり)	備考			
		成分	基肥	追肥(回)					成分 合計		
				1 回	2 回	3 回				4 回	5 回
2,000	6.0 ~ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	12 12 12	4 4 4	4 4 4	20 12 20	・稲わら牛ふん堆肥を 2,000kg施用する。 【この場合、左の基肥 から 窒素:2.0kg りん酸:5.8kg 加里:9.6kg を差し引く】 ・苦土炭カルを80kg施用 する。	とくに吸肥力が強 く、つるぼけになり やすいので、施肥は 地力に応じて加減す る。			
1,000	6.0 ~ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	12 12 12	4 4 4	4 4 4	20 12 20	・稲わら牛ふん堆肥を 2,000kg施用する。 【この場合、左の基肥 から 窒素:2.0kg りん酸:5.8kg 加里:9.6kg を差し引く】 ・苦土炭カルを80kg施用 する。	とくに吸肥力が強 く、つるぼけになり やすいので、施肥は 地力に応じて加減す る。			
3,000	6.0 ~ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	12 25 12	2 2 2	2 2 2	20 25 20	・稲わら牛ふん堆肥を 2,000kg施用する。 【この場合、左の基肥 から 窒素:2.0kg りん酸:5.8kg 加里:9.6kg を差し引く】 ・苦土炭カルを80kg施用 する。	とくに吸肥力が強 く、つるぼけになり やすいので、施肥は 地力に応じて加減す る。			
3,000	6.0 ~ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	12 25 12	2 2 2	2 2 2	18 25 18	・苦土炭カルを80kg施用 する。				
5,000 ~ 8,000	6.0 ~ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	15 20 15	5 5 5	5 5 5	30 20 30	・稲わら牛ふん堆肥を 3,000kg施用する。 【この場合、左の基肥 から 窒素:3.0kg りん酸:8.7kg 加里:14.4kg を差し引く】 ・苦土炭カルを160kg施 用する。	1.乾燥に弱いので注 意する。 2.接木栽培は台木に 応じて施肥量を調整 する。			
6,000		N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	25 35 25	5 5 5	4 4 4	4 4 4	44 40 44				
14,000		N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	25 35 25	5 5 5	4 4 4	4 4 4	45 40 45	1.緩効性肥料や有機 質肥料を 中心とした 施肥設計とする。 2.5回目以降の追肥 は草勢を見て行う。			

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	栽培 様式	作型模式図											
				1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
トマト	ハウス 長期ど り (越冬)	麗 容 マイロック	120×36 ~40cm 1条 2,100株 ~												
	ハウス 冬春ど り	麗 容 CF桃太郎は るか	200× 40cm 2条 (条間 80cm) 2,100株 ~												
半促成	麗 夏 りんか409 CF桃太郎は るか														
抑制	CF桃太郎は るか 麗 夏														

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)						堆肥及び土づくり資材等 の施用例(10a当たり)	備 考		
		成分	基肥	追肥(回)						成分 合計	
				1 回	2 回	3 回	4 回				5 回
20,000		N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	20 30 26	5 5 5	5 2 10	5 2 10	5 2 10	5 2 10	45 43 71	<ul style="list-style-type: none"> <li>オガクズ牛ふん堆肥を3,000kg施用する。【この場合、左の基肥から窒素：2.1kgりん酸：12.0kg加里：24.6kgを差し引く】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>緩効性肥料や有機質肥料を中心とした施肥料設計とする。</li> <li>追肥は草勢に応じて行う。</li> <li>初期の多窒素による草勢過多に注意する。</li> </ol>
14,000	6.0 ~ 6.5	(黒ボク土) N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	18 25 23	5 5 5	4 2 8	4 2 8	4 2 8	4 2 8	35 36 52	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦土炭カルを100kg施用する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>多窒素、高温、乾燥下では石灰欠乏が発生するので注意する。</li> </ol>
		(細粒質灰色 低地土) N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	14 25 18	4 4 4	4 2 8	4 2 8	4 2 8	4 2 8	30 35 46	<ul style="list-style-type: none"> <li>稲わら牛ふん堆肥を2,500kg施用する。【この場合、左の基肥から窒素：2.5kgりん酸：7.3kg加里：12.0kgを差し引く】</li> <li>苦土炭カルを100kg施用する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>深根性であるので作土を深くする。</li> <li>着果までに草勢が強いと、不良果が発生したり玉伸びが劣るので、緩効性肥料や有機質肥料を中心とした施肥設計とする。</li> </ol>
		(中粗粒質灰色 低地土) N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	10 22 13	4 4 4	4 2 8	4 2 8	4 2 8	4 2 8	26 32 41	<ul style="list-style-type: none"> <li>稲わら牛ふん堆肥を3,000kg施用する。【この場合、左の基肥から窒素：3.0kgりん酸：8.7kg加里：14.4kgを差し引く】</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>接木栽培は台木に応じて施肥量を調節する。</li> <li>雨よけ栽培は生育に応じて追肥を行い、多肥に注意する。</li> </ol>
6,000		N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	18 18 18	5 5 5	4 4 4	4 4 4			31 18 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦土炭カルを100kg施用する。</li> </ul>	
6,000		N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	10 22 13	4 4 4	4 4 4				22 22 25		

作物名	栽培型 又は 作 型	品種名	栽培 様式	作型模式図																		
				1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月							
ト マ ト	夏どり	麗 夏 CF桃太郎 はるか りんか409	200× 40cm 2条 (条間 40cm) 2,500株				○	×	⊕	①	②	③	④									
	ジュ ース用ト マト	カゴメ993	180× 50cm 1,110株				○	×	⊕	①	②											
ピー マン		京ゆたか 京鈴	200× 45cm 2条 (条間 40cm) 2,200株				○	×	⊕	①	②	③										○
							○	×	⊕	①	②	③										

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)							堆肥及び土づくり資材等 の施用例 (10a当たり)	備 考	
		成分	基肥	追肥 (回)							成分 合計
				1 回	2 回	3 回	4 回	5 回			
8,000	6.0 ~ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	12 25 16	5 5 5	4 4 4	4 4 4		30 25 34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲わら牛ふん堆肥を3,000kg施用する。【この場合、左の基肥から窒素:3.0kgりん酸:8.7kg加里:14.4kgを差し引く】</li> <li>・苦土炭カルを160kg施用する。</li> </ul>		
8,000	6.0 ~ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	6 25 12	3 3 3	3 3 3			12 25 18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲わら牛ふん堆肥を2,000kg施用する。【この場合、左の基肥から窒素:2.0kgりん酸:5.8kg加里:9.6kgを差し引く】</li> <li>・苦土炭カルを160kg施用する。</li> </ul>		
7,000	6.0 ~ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	15 25 15	5 5 5	5 5 5			30 25 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲わら牛ふん堆肥を2,000kg施用する。【この場合、左の基肥から窒素:2.0kgりん酸:5.8kg加里:9.6kgを差し引く】</li> <li>・苦土炭カルを160kg施用する。</li> </ul>		

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	栽培 様式	作型模式図											
				1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
いちじ	夜冷育苗	とちおとめ	120cm× 23~25cm 2条高畦 6,500~ 7,200株	[Diagram showing cultivation patterns for night cold seedlings with symbols for night cold (▲), irrigation (☉), and other treatments]											
				株冷処理											
				高冷地育苗											
				ポット育苗											
				平地育苗											

▲ 夜冷

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)					堆肥及び土づくり資材等の 施用例 (10a当たり)	備 考			
		成分	基肥	追肥 (回)							
				1	2	3	4	5	成分 合計		
5,000 ~ 6,000	5.5 ~ 6.5	N	15	1	1	1	1	1	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>オガクズ牛ふん堆肥を2,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 1.4kg りん酸 8.0kg 加里 16.4kg を差し引く】</li> </ul>	1. 苗床施肥量(kg/a) (ポット育苗は除く) N 0.3~0.5 P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 0.5~1.0 K <sub>2</sub> O 0.5~1.0  2. 根は弱く、肥やけを受けやすいので注意する。
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>		20	1	1	1	1	1	20			
K <sub>2</sub> O		20	1	1	1	1	1	25			
N		15	1	1	1	1	1	20			
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>		20	1	1	1	1	1	20			
K <sub>2</sub> O	20	1	1	1	1	1	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦土炭カルを100kg施用する。</li> </ul> 3. 追肥は液肥を施用する。			
5,000	N	15	1	1	1	1	20				
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	20	1	1	1	1	1	20				
K <sub>2</sub> O	20	1	1	1	1	1	25				
5,000	N	15	1	1	1	1	20				
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	20	1	1	1	1	1	20				
K <sub>2</sub> O	20	1	1	1	1	1	25				
4,000	N	18	1	1	1	1	23				
P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	20	1	1	1	1	1	20				
K <sub>2</sub> O	20	1	1	1	1	1	25				

作物名	栽培型 又は 作型	品種名	栽培 様式	作型模式図																	
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月						
いちじ	ポット育苗	スカイベリー	120cm× 25cm 2条高畦 6,000～ 6,500株  105cm× 18～21cm 1条高畦 4,500～ 5,500株																		
	ポット育苗	とちひめ	120cm× 25cm 2条高畦 6,000～ 6,500株																		
	ポット育苗	なつおとめ	120cm× 24cm～ 27cm 2条高畦 6,000～ 7,000株																		
	平地育苗																				

目標収量 (kg/10a)	適正 pH	施肥量 (kg/10a)						堆肥及び土づくり資材等の 施用例(10a当たり)	備 考		
		成分	基肥	追肥(回)						成分 合計	
				1	2	3	4				5
5,000 ～ 6,000	5.5 ～ 6.5	N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	10 20 20	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	20 20 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>オガクズ牛ふん堆肥を1,000kg施用する。 【この場合、左の基肥から 窒素 0.7kg りん酸 4.0kg 加里 8.2kg を差し引く】</li> <li>苦土炭カルを100kg施用する。</li> </ul>	1. 苗床施肥量(kg/a) (ポット育苗は除く) N 0.3～0.5 P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> 0.5～1.0 K <sub>2</sub> O 0.5～1.0  2. 根は弱く、肥やけを受けやすいので注意する。  3. 追肥は液肥を施用する。	
5,000		N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	15 20 20	1 1 1	1 1 1	1 1 1	1 1 1	20 20 25			
3,000		N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	16 11 26	1 1 1	1 1 1	1 1 1	1 1 1	20 15 30			
2,500		N P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> K <sub>2</sub> O	16 11 26	1 1 1	1 1 1	1 1 1	1 1 1	20 15 30			